企業・経営

2026 年 11 月 4 日

水利事業の事業譲渡について

パナソニック コネクトグループ（以下、パナソニック コネクト）は、水利事業（自治体水利事業及び電力水利事業、以下、当該事業）について、日本無線株式会社（以下、JRC）へ事業譲渡する旨、本日契約締結しましたのでお知らせいたします。

■背景および目的

パナソニック コネクトでは当該事業を長きに渡り推進してきましたが、事業成長戦略におけるソリューション事業の選択と集中を実践する中、当該事業においても最適な成長のあり方を検討してきました。そのような中、業界最大手である JRC が持つ防災・河川分野の技術やノウハウと融合することにより、事業領域のさらなる拡大が見込めると判断し、今回の事業譲渡が最善との結論に至りました。

■譲渡事業内容

自治体水利事業及び電力水利事業

主にダム管理システム、用水管理システム、テレメータ・放流警報システム、水防テレメータ等の開発及び販売

（2025 年度売上実績：約 24 億円）

■譲渡先概要

名称	日本無線株式会社（JRC）
代表者	佐久間 嘉一郎 （代表取締役 社長執行役員）
所在地	東京都中野区中野 4-10-1
事業内容	船舶用機器、防災・減災システムなど
設立	1915 年 12 月
URL	https://www.jrc.co.jp/

■今後のスケジュール

本件事業譲渡は 2027 年 4 月 1 日の実行を予定しています。

■関連リリース

本件に関する日清紡ホールディングス株式会社のニュースリリース：
https://www.nisshinbo.co.jp/nish/news/pdf/news20261104_1.pdf
本件に関する日本無線株式会社のニュースリリース：
https://www.jrc.co.jp/news/2026/1104-1

【パナソニック コネクトグループについて】

パナソニック コネクトグループは パナソニックグループの B2B ソリューションの中核を担う企業集団です。グローバルで約 29,100 名の従業員を擁し、売上高は 1 兆 3,803 億円（2025 年度）を計上しています。「現場から 社会を動かし 未来へつなぐ」をパーパス（企業としての存在意義）として掲げ、製造業 100 年の知見とソフトウェアを組み合わせたソリューションや高度に差別化されたハードウェアの提供を通じて、サプライチェーン、公共サービス、生活インフラ、エンターテインメントのお客様をつなぎ、「現場」をイノベートすることに取り組んでいます。また、人と自然が共存できる豊かな社会・地球の「サステナビリティ」と、一人ひとりが生きがいを感じ、安心安全で幸せに暮らすことができる「ウェルビーイング」の実現を目指しています。
また、「人権の尊重」と「企業競争力の向上」を目的に、DEI（Diversity, Equity & Inclusion）推進を経営戦略の柱のひとつに位置づけ、多様な価値観を持つ一人ひとりがイキイキと力を発揮できる柔軟性の高い企業文化の改革に取り組んでいます。

▼パナソニック コネクトグループ ウェブサイト
https://connect.panasonic.com/jp-ja/
▼パナソニック コネクトグループ Newsroom
https://connect.panasonic.com/jp-ja/newsroom
▼パナソニック コネクトグループ DEI（Diversity, Equity & Inclusion）
https://connect.panasonic.com/jp-ja/about/sustainability/dei

以　上